

木更津市中心市街地活性化協議会
令和7年度第1回会議 会議録

日 時：令和7年5月19日（月）11：00～11：45

場 所：木更津市役所駅前庁舎 防災室・会議室

出席委員（敬称略）

団体名	役 職	氏 名	備考
木更津東部商店街振興組合	理事長	玉丸 森敏	
木更津一番街商店街振興組合	理事長	立川 明義	
中央地区まちづくり協議会	会長	高木 厚行	
大和町親交会	会長	高橋 克典	
東日本旅客鉄道株式会社 木更津統括センター	副長	永井 俊之	代理出席
日東交通株式会社	専務取締役	平野 直	代理出席
小湊鐵道株式会社	バス部 木更津営業所 所長	後藤 洋一	代理出席
一般社団法人千葉県タクシー協会		益田 秀一	代理出席
イオンモール株式会社 イオンモール木更津	営業マネージャー	宮ノ下 弘道	代理出席
京葉銀行 木更津支店	支店長	藤原 直人	
館山信用金庫 木更津支店	支店長	齊藤 啓	
千葉銀行 木更津支店	支店長	児島 正人	
千葉興業銀行 木更津支店	支店長	芳村 哲志	
千葉信用金庫 木更津支店	支店長	吉田 与一郎	
一般社団法人かずさ青年会議所	理事長	原 啓	
一般社団法人まちづくり木更津	理事	齋藤 武	
日本大学	教授	北野 幸樹	
木更津市	副市長	田中 幸子	
木更津市	企画部長	渡辺 則行	
木更津市	経済部長	大岩 房之	
木更津市	都市整備部長	寺田 巧実	

配付資料

- ・木更津市中心市街地活性化協議会 令和 7 年度第 1 回会議 会議次第
- ・木更津市中心市街地活性化協議会委員名簿
- ・令和 7 年度第 1 回会議 出席者名簿
- ・令和 7 年度第 1 回会議 席次表
- ・令和 6 年度事業報告〔資料 1〕
- ・令和 6 年度収支決算報告書〔資料 2-1〕
- ・監査報告書〔資料 2-2〕
- ・令和 7 年度事業計画書（案）〔資料 3〕
- ・令和 7 年度収支予算書（案）〔資料 4〕
- ・木更津市中心市街地活性化基本計画の最終フォローアップに関する報告〔資料 5-1〕
- ・木更津市中心市街地活性化基本計画の取組等に対する意見書（案）〔資料 5-2〕
- ・木更津市中心市街地活性化基本計画の変更一覧表〔資料 6〕
- ・新旧対照表〔資料 6-2〕

1 開 会

2 会長あいさつ

3 委員紹介

4 議 事

（1）令和 6 年度事業報告及び収支決算報告について

事務局より説明し、木更津市中心市街地活性化基本計画（第 2 期）策定に係る意見書について承認された。

（2）令和 7 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

事務局より説明し、令和 7 年度事業計画（案）について承認された。

（3）木更津市中心市街地活性化基本計画の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見について

事務局より説明し、木更津市中心市街地活性化基本計画の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見について承認された。

（4）木更津市中心市街地活性化基本計画（第 2 期）の変更について

事務局より説明し、木更津市中心市街地活性化基本計画（第 2 期）の変更について承認された

5 そ の 他

委 員：①資料 5-14 ページのアンケート結果について、有効サンプル数が 780 件となっているが、1 期計画を策定する際に実施したアンケートでは、1,000 件以上の回答があったと思うが、今回回答数が減少した原因は何か考えられるのか。

②ユース部会のボランティア証明の様式は依然と同じままなのか

③2期計画概要版に、地図と各事業の一覧があるが、駅の東西で事業数に差があると感じる。今後、東口にて実施予定の事業や計画しているものがあれば教えて欲しい。

事務局：①については、1期計画策定時は3,000人に調査しているが、2期計画策定の際は2,000人に調査しており、回答数に差が生じている。なお、回答割合については、1期計画策定時は44.5%、今回は39.0%となっており、回答割合はほとんど変わらないと考えている。

②ボランティア証明の変更について引き続き検討を進める。

③今回の計画は、駅西口の新庁舎整備や、市民交流スペースの整備など核となる取組を記載している。東側においても、空き店舗改修に関する補助金などの事業があるが、まずは西側を整備し、その賑わいを東側にも誘引するような取組みを検討していきたい。

委員：この場をお借りして、木更津舞尊について御礼申し上げたい。

今年度は、39団体、1300人の参加があり、約11,300人が来場し、大変盛況だった。今後も、こういったイベントを通じたコミュニティづくりを行いながら、中心市街地の活性化に向け取組んでいきたい。

委員：昨年度のユース部会の活動報告のなかで、イベントの来場者が100人というのは少ないと感じる。周知の方法はどのようにおこなったのか。

事務局：昨年度のイベントの際はチラシの完成がイベント間際になってしまうなど、周知の時間を確保することが難しかった。今年度実施するイベントでは、広報や市の定例記者会見での発表を考えている。

委員：自分たちでやることも必要だが、民間のインフルエンサーなど、外部の方に依頼するなどにも検討する必要があると考える。

6 閉会